

令和5年春の褒章

佐々木氏に黄綬褒章

2023年春の褒章受章者が発表され、本県関係は黄綬褒章で5人、藍綬褒章で11人が受章した。本県建設業関係では設計監理業の業務精励に

より黄綬褒章を受章して設計に入社。その後、荒井功雄建築設計事務所に移籍した。1986年に1級建築士に合格し、建築士資格を取得。1996年には代表取締役社長に就任し、管理建築士として統括責任者の立場から多くの作品を手がけている。

【佐々木宏幸氏】

佐々木宏幸氏は1957年8月1日生まれの65歳。冷静かつ沈着で、旺盛な研究心および向上心を持ち、誠実な対応とパランスのとれた判断力が高く評価されている。卓越した技能・技術を備え、目標に向かって突き進み、誠実に職務を遂行している。

佐々木宏幸氏



氏は東京電機大学工学部建築学科を卒業後、杉

所の中でも高い評価を受けている。

県建築士事務所協会では、12年5月に会長に就任。若手建築家育成にも力を注ぎ、「とちぎ建築プロジェクト」を立ち上げコンペティションを開催するなど、建築業界全体の発展に尽力。BIM普及のため継続してきた「マロニエBIM設計コンペティション」は、21年度から日事連主催の全国イベントに進化し開催されている。

氏は、09年度に県建設事業関係功労者として知事表彰、19年度には国土交通省建設事業関係功労者として大臣表彰を受賞している。

12年6月に日本建築士事務所協会連合会（日事連）の理事就任後、常任理事、副会長を経て18年6月から2年間、会長を務めた。現在も理事として、全国の建築設計事務所を抱える後継者問題や、経営環境の改善などに取り組んでいる。

本県関係は16人が受章

建築技術教育普及センター、日本住宅協会、建築行政情報センター、建築コスト管理システム研究所、住宅リフォーム・紛争処理支援センターの各団体に理事を務め、業務の執行に尽力した。建築士事務所企業年金基金では、20年4月より現在まで理事長として基金の事業運営と加入者の福祉向上に努めている。